

回 図のような、小学校で学習したかけ算九九の表があります。優さ

んは、太線で囲んだ数のように、縦横に隣り合う4つの数を

a	b
c	d

としたとき、4つの数の和 $a + b + c + d$ がどんな数になるかを考えています。

例えば、

8	10
12	15

 のとき $8 + 10 + 12 + 15 = 45$,

10	15
12	18

 のとき $10 + 15 + 12 + 18 = 55$ となります。

優さんは、 $45 = 5 \times 9$, $55 = 5 \times 11$ となることから、次のように予想しました。

(予想)

縦横に隣り合う4つの数の和は、5の倍数である。

予想が正しいとはいえないことを、次のように説明するとき、ア～オに当てはまる数を、それぞれ書きなさい。

(説明)

縦横に隣り合う4つの数が、 $a =$ ア, $b =$ イ, $c =$ ウ, $d =$ エ のとき、4つの数の和 $a + b + c + d$ は、オ となり、5の倍数ではない。

したがって、縦横に隣り合う4つの数の和は、5の倍数であるとは限らない。

【答】 (例) ア. 1 イ. 2 ウ. 2 エ. 4 オ. 9

	かける数								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

かけられる数